



TOKACHI RIVER

帯広河川事務所・事業概要

 かあたび
ほっかいどう

帯広開発建設部
帯広河川事務所

www.hkd.mlit.go.jp/ob/obihiro_kasen



日本有数の大河川「十勝川」

十勝川は日本有数の規模を誇る一級河川のひとつです。
長さ(幹川流路延長)は156kmで国内一級河川109水系の中では17位、道内では3位です。
流域面積は9,010km²で全国6位、道内2位の広さ。
実に北海道の10%以上の面積に降った雨水が十勝川に流れています。

流域面積
全国6位!



十勝川流域の主な河川

1級河川

とがち
十勝川
おとふけ
音更川
さつない
札内川
としべつ
利別川



川の利用について

川はみんなの共有財産でもあり、地域の人々が自由に使用することができます。ただし、防災や環境の保全などの役割も担っているため、物を設置したり、イベントなどの使用については、河川管理者の許可が必要となる場合があります。また、迷惑行為として、ゴミの不法投棄などを行うと罰せられることになります。未来の子ども達のためにも、大切に使いましょう!!



帯広河川事務所

事業管内



十勝ダム
東大雪湖



しかりべつ
然別湖



札内川ダム



札内川



十勝川



音更川

凡例	
	帯広河川事務所管理区間
	既設砂防堰堤
	施行中



洪水の猛威から暮らしを守るために

十勝川流域では開拓者が入植して以来、たびたび大洪水に見舞われ、住民の意欲と生活が根底から脅かされ続けてきました。中でも大正11年、昭和37年には記録的な大洪水が発生したほか、昭和56年にも大被害が発生しました。近年では平成10年、13年、15年、23年、28年と大雨による大洪水が相次いでおり、いたるところで内水氾濫などによる被害がでました。帯広河川事務所では、万が一の災害に備えて、出水状況に応じた速やかな河川管理施設の巡視等を行うための体制を整えています。



音和橋(音更川)

十勝川の洪水による災害



平成28年の洪水災害

洪水発生年月日	気象原因	被害等
大正11年8月	台風	被害家屋:4,478戸 氾濫面積:5,243ha
昭和37年8月	台風	被害家屋:3,793戸 氾濫面積:40,768ha
昭和47年9月	台風	被害家屋:3,013戸 氾濫面積:30,729ha
昭和50年5月	低気圧	被害家屋:186戸 氾濫面積:2,698ha
昭和56年8月	台風	被害家屋:355戸 氾濫面積:7,017ha
昭和63年11月	低気圧	被害家屋:279戸 氾濫面積:366ha
平成元年6月	低気圧	被害家屋:34戸 氾濫面積:3,940ha
平成10年9月	台風	被害家屋:286戸 氾濫面積:1,907ha
平成13年9月	台風	被害家屋:11戸 氾濫面積:298ha
平成15年8月	台風	被害家屋:51戸 氾濫面積:369ha
平成23年9月	台風	被害家屋:33戸 氾濫面積:38ha
平成28年8月	台風	被害家屋:356戸 氾濫面積:1,412ha

3つの台風と台風第10号

平成28(2016)年8月17日～23日の間に、観測史上はじめて北海道に3つの台風(台風第7・11・9号)が連続して上陸。更に1週間後の8月30日には台風第10号が接近しました。この台風により記録的な豪雨が 발생し、河川氾濫や堤防の決壊、道路・鉄道の寸断、農地流出など、各地で甚大な被害が発生しました。十勝管内においても、札内川と音更川の堤防が決壊したほか、橋梁崩落や内水氾濫、畑の冠水など、甚大な被害が発生。さらに、十勝川等の主要河川が「氾濫危険水位」を超え、複数の基準観測所において最高水位の記録を更新しました。



音更川の低水護岸流出



十勝川の河岸浸食



十勝大橋付近(十勝川)



札内川と戸鶯別川の合流地点

※本ページの画像は全て平成28年8月の洪水のものです。

暮らしを守る より良い川づくりに向けて！

治水

利水 環境

治水

水害から命と暮らしを守る

治水とは、洪水・高潮などの水害や、地すべり・土石流・急傾斜地崩壊などの土砂災害から人間の生命・財産・生活を守るための事業です。帯広河川事務所が管轄する十勝川の中流から上流は、扇状地を流れており、川の流れが急で、大きく蛇行しています。このため、川の流れを安定させ、増えた水が街や農地に流れ込まないように、堤防や護岸の工事をしています。また、光ファイバーによる河川の監視や、堤防から洪水が溢れたときに水の勢いを軽減するための「治水の柱」の整備も進めています。工事を進めるに当たっては、地域の方々と協働し、動植物等の自然環境に十分配慮して行っています。

十勝の河川を守る

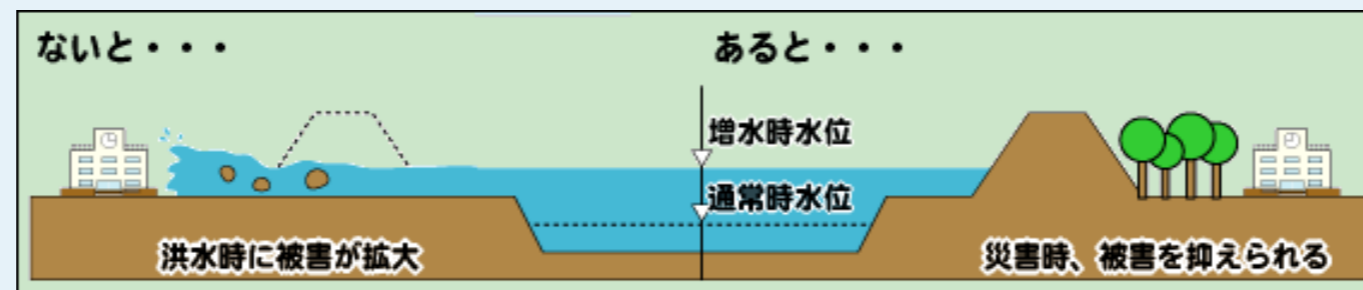
帯広河川事務所は一級河川十勝川流域のほぼ中央に位置し、十勝川の中・上流部と札内川や音更川などの支川の管理や河川改修、砂防事業等を実施しているほか、十勝ダムと札内川ダムの管理・操作を行っており、住民が安心して暮らせるように洪水に対して安全で、かつ、良好な水辺環境を保全・創出する治水事業を展開しています。

洪水を安全に流す！
ちく てい もり ど
築堤（盛土）

普段は穏やかな川も、大雨が降ると、川の水は高水敷の上まで増えます。この時に堤防がないと、増えた水は街や農地に流れ込み、大きな被害が出てしまいます。帯広河川事務所ではこれまで約220kmに渡り、堤防を築いてきました。現在は、数十年に一度降るような大雨に対して堤防の保護対策を行っています。



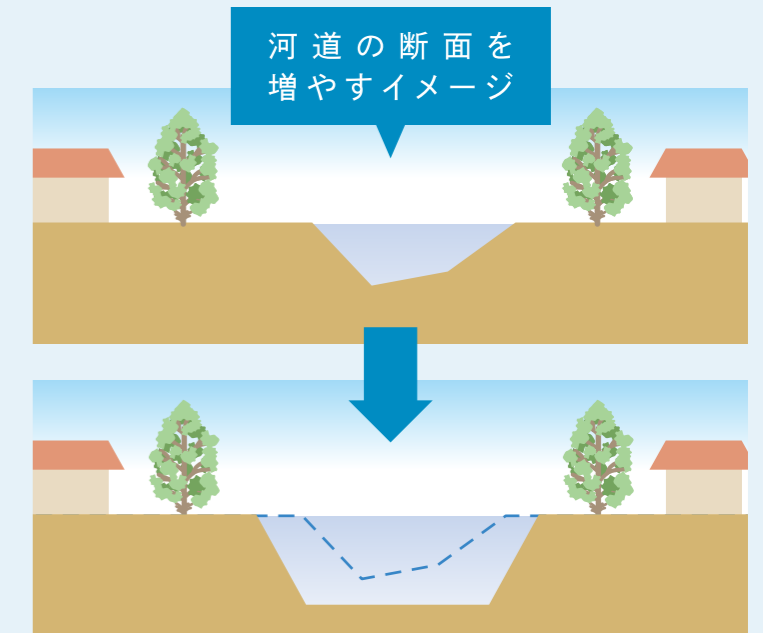
堤防工事の様子



堤防役割の図

流せる水の量を増やす！
かどう くっさく
河道掘削

河川の水が流れる部分のことを「河道」といい、洪水が河道内を安全に流下させるため、流下断面（幅や深さ）が不足している区間においては「河道掘削」を行っています。



帯広河川事務所の仕事
治水

ひき
引
堤

帯広市街と音更市街が広がる十勝大橋付近
 一帯は、十勝地方の主要な都市機能が密集
 する地域である一方、川幅が上下流より極端
 に狭く、大きく湾曲していました。このため、本
 地区の治水安全度の向上を目的に引堤等の
 事業を実施しました。



木野引堤事業

ご
護
岸

十勝川水系の河原には、大きな石が多く見
 られます。大きな洪水が来ると、これらの石も水
 の勢いで動かされ、川の形は洪水前後で大き
 く変わります。水の流れる方向によっては、河
 岸が大きく浸食を受け、堤防が削られること
 もあります。これを防ぐために、堤防の保護と
 して護岸ブロックなどを設置しています。



がすみ
霞
堤

堤防の一部を連続させず、洪水の一部を氾濫
 させて下流に流下する洪水の量を少なくした
 り、上流で氾濫した水を速やかに河川に戻す
 ために用いる方法で、急流河川で多く採用さ
 れています。帯広河川事務所管内では、札内
 川や音更川、十勝川でも見ることができます。

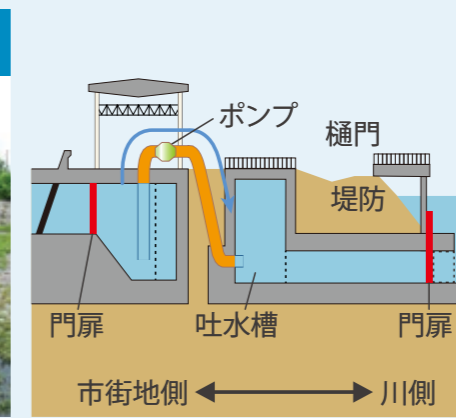


霞堤

ないすい はんらん たいさく
内水氾濫対策

堤防にはところどころ市街地側の雨水等を排水
 する水路が設置されています。この水路の出口に
 はゲート(樋門)が設置してあり、洪水時に川の水
 が増えても、逆流しないようにしています。排水先
 の川の水位が上昇したり、それに合わせて樋門を
 閉じたり、また、流入河川や排水路の能力を超え

たりすると、人が暮らす側の水(内水)が排出でき
 なくなつてあふれ出します。こうした被害の防止や
 軽減のため、固定式の大型ポンプがある「排水機
 場」や、運搬可能なポンプを接続できる「救急排
 水施設」などのポンプの力で水を排出します。



水防拠点の整備

洪水などの災害時に使用するブロックや、土砂等
 の水防資材の備蓄、緊急時のヘリポート等を備え
 た河川防災ステーションや水防拠点の整備を
 行っています。



土幌水防拠点



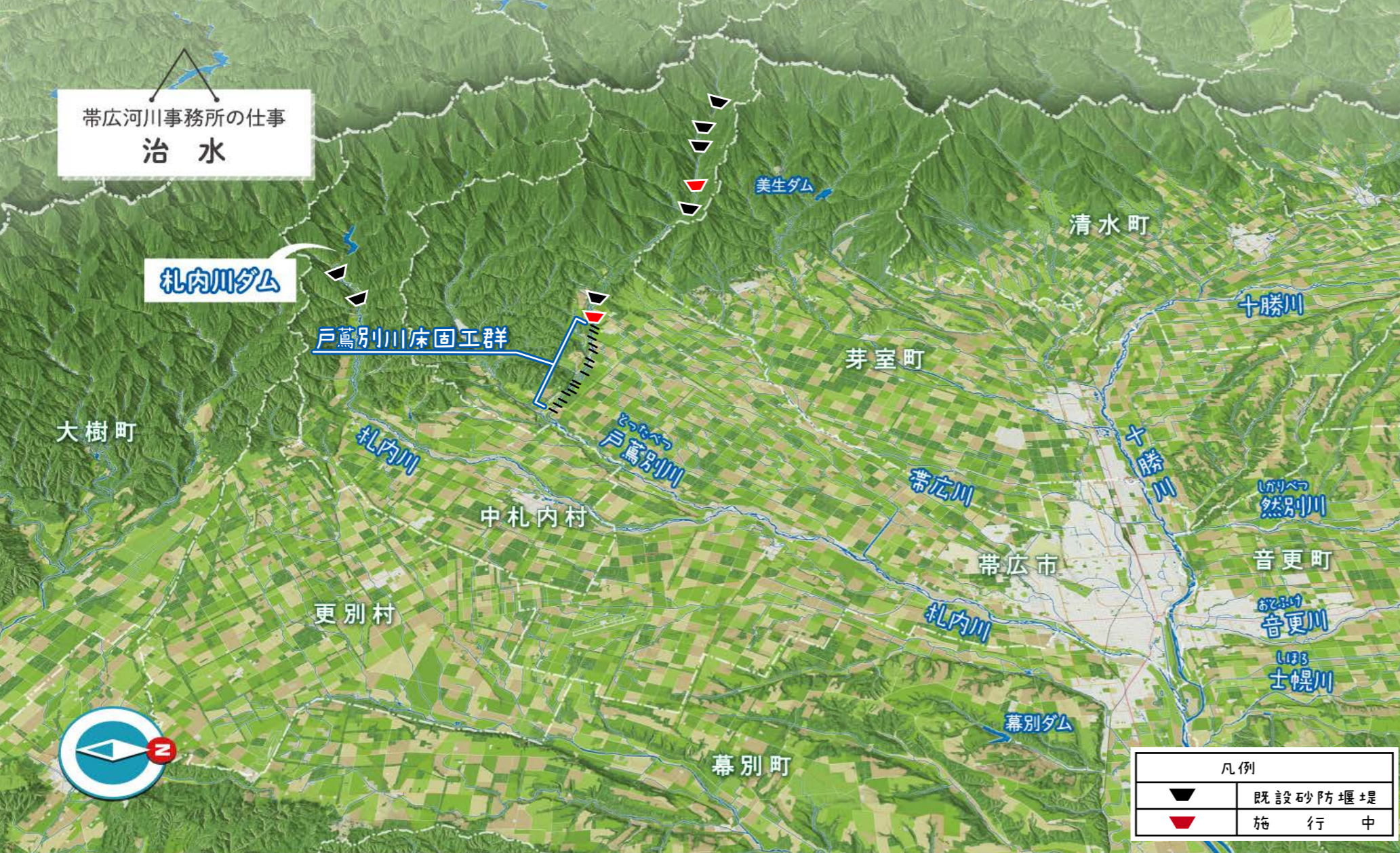
水防活動の様子



東帯広地区河川防災ステーション

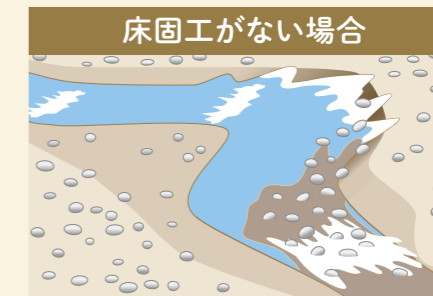


水防資材の備蓄(根固めブロック)

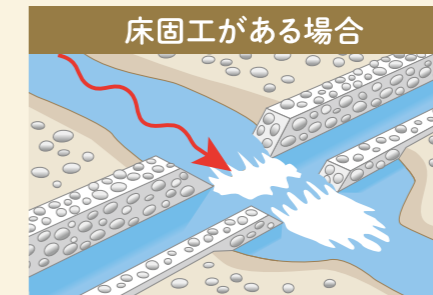


どしゃりゆうしゅつ
土砂流出を防ぐ!! /
とこがためこう
床固工

川の勾配を緩やかにして川底を安定させて川の土砂流出を防ぎます。特に川が急流の場合はいくつもの床固工を造る「床固工群」という方法をとります。



蛇行するたびに河原を削り土砂を下流に流してしまふ。



土砂の流失を防ぐことができる。

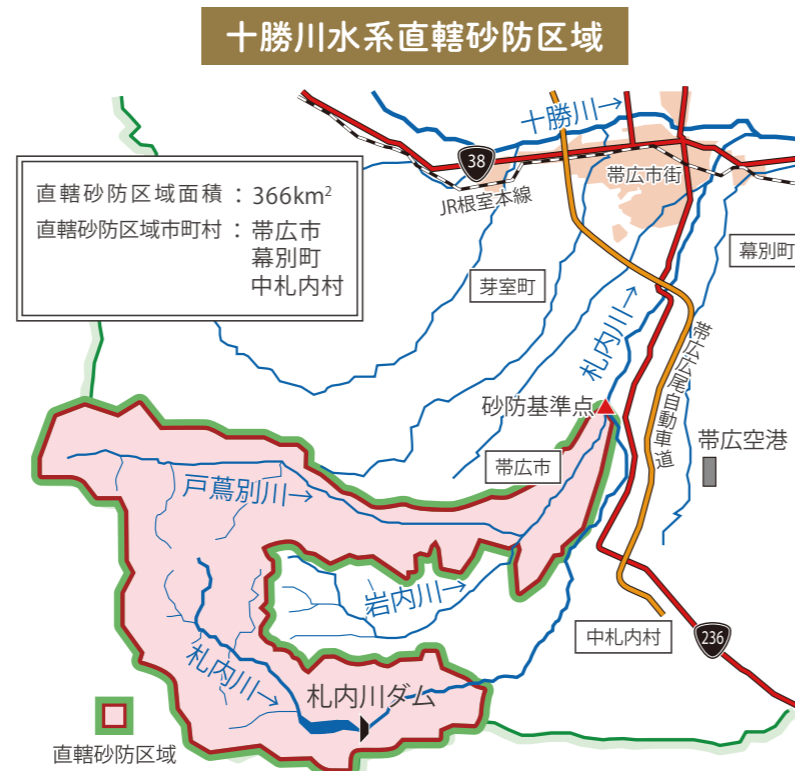


戸蔦別川床固工

さ ぼう
砂 防

急激な土砂の流れを防ぐ

帯広河川事務所が管轄する札内川や戸蔦別川の上流部は急峻な山岳地形となっており、山肌が削られ、濁流となつて、河岸決壊や堤防決壊などの大災害が発生してきました。市街地を災害から守るため、砂防堰堤の建設など、土砂による災害の発生を抑制しています。



どせきりゆう
土石流を食い止める!! /
さぼう えんてい
砂防堰堤

砂防堰堤は大雨の時など一度に大量の土砂が下流に流出することを防ぎます。普段は土砂が流れ、洪水時に土石流を食い止めるスリット型の堰堤も造られています。



戸蔦別川第6号砂防堰堤



スリット型の堰堤

環境

うるおいある水辺を

川の自然の営みと、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、川が本来持っている生物の生息・生育・繁殖環境や多様な河川景観を保全・創出する取り組みを進めています。また、伐採木の有効活用など、低炭素・循環型社会の取り組みにも着手しています。

がわまちづくり支援制度

古くから培われた地域の歴史や文化、人々の生活とのつながりなど、水辺にはその地域特有の資源が眠っています。また、水辺はその使い方によって新たな価値を生み出す可能性を秘めています。がわまちづくりは、地域の「顔」、そして「誇り」となる水辺空間の形成を目指しています。



札内川自然再生の取組

れきがわら 礫河原再生

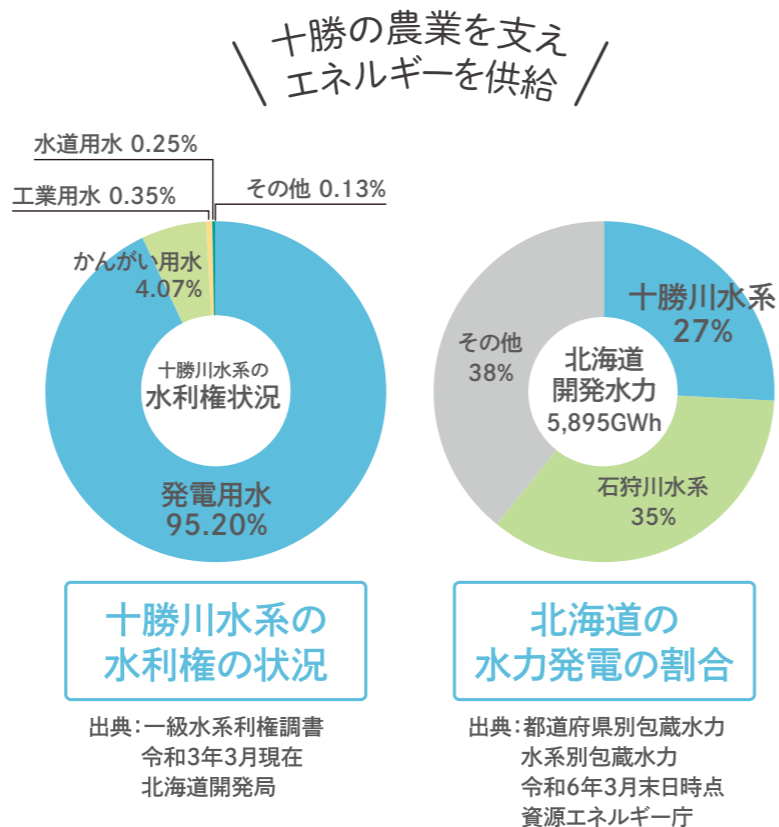
札内川特有の河川環境・景観を保全するため、札内川ダム放流(フラッシュ放流)を活用し、氷河期の遺存種「ケショウヤナギ」の生育環境に適した礫河原の再生により、水辺の活性化、地域の活性化に取り組んでいます。



利水

暮らしに生きる川の水

河川水の利用は、水道用水、工業用水、かんがい用水、発電用水等多岐にわたっています。



千代田堰堤(かんがい)



くつたり 屈足ダム(かんがい・発電など)

みずべ がっこう 水辺の楽校

人と環境の関わりについて理解を深め、豊かな人間性を育むために、身近な水辺における環境学習や自然体験活動を支援しています。



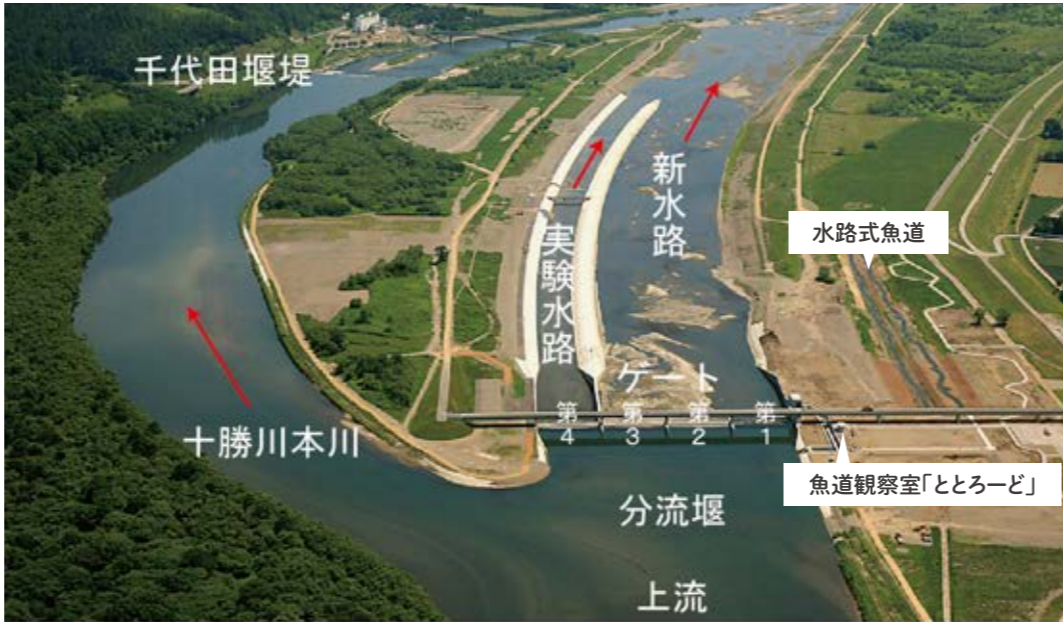
「治水」の鎮守の杜を築く / 治水の杜

堤防沿いに苗木を植樹しています。堤防を越えるような洪水が発生しても氾濫を抑える働きのほか、豊かな自然環境が創出されます。



千代田新水路

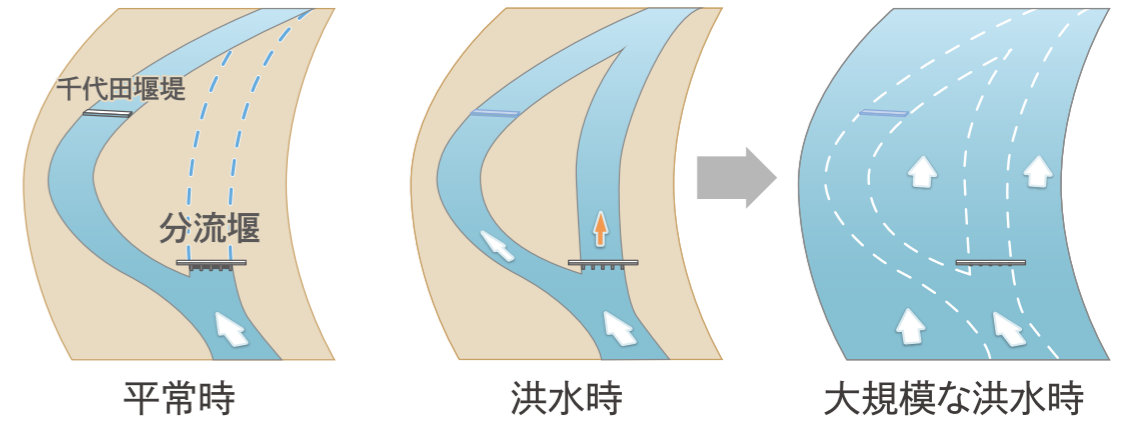
農業・洪水・環境・観光
における重要な水路



「千代田新水路」上流側上空から見たところ

十勝川中流部に位置する千代田堰堤は、昭和10年に設置された固定堰で、その高さは十勝川の計画河床高(計画の川底の高さ)より5.6mも高くなっています。また、低水路も左側に大きく湾曲しており、洪水時のスムーズな流れを阻害し、洪水を安全に流下させることができません。一方で、農業取水施設やサケの捕獲場、観光資源としてもとても重要な役割を果たしています。地域の財産である千代田堰堤を残すとともに流下能力不足を解消し、治水安全度を向上させるため、右岸側の高水敷に新しい水路を掘削しました。新水路の上流部には分流堰を設け、通常時は分流堰ゲートを閉めて現低水路に水を流し、洪水時には分流堰ゲートを開けて新水路に水を流し、洪水を安全に流下させます。

また、実河川スケールでの様々な実験・研究を行う施設として、新水路の一部を実験水路として活用し、ここで得られた成果を元に、河川管理に関する課題の解消に役立てています。



千代田新水路のイメージ



実験の様子だよ～

新水路での氾濫実験の様子

川は国民共通の
大切な財産!!

河川の管理と維持補修

堤防などの河川管理施設の機能を発揮できるよう、堤防除草、天端補修をはじめ、洪水時に備えた流木除去、排水機場や樋門の点検・整備などを行っております。また、河川管理施設や河川の状態などに異常がないか定期的な点検・巡視を行っており、土地の無断使用やゴミの不法投棄など、河川区域内で不法な行為が行われていないかも監視しています。河川の監視については、監視カメラや水位・雨量テレメーターを活用し、効率的な情報の収集に努めています。



十勝ダム

十勝川の治水と水力発電を 目的とした特定多目的ダム

十勝川上流の十勝ダムは、山に降った流水の調節と水力発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。治水・利水機能を確認するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行っています。

※治水の役割のほか、発電・水道用水などを供給する役割もあるダムを「多目的ダム」といいます。

十勝ダムの施設概要

高さ	／	84.3m
長さ	／	443m
体積	／	3,715,000m ³
総貯水容量	／	112,000,000m ³
貯水面積	／	4.2km ²
集水面積	／	592km ²
ダム形式	／	中央コア型ロックフィルダム

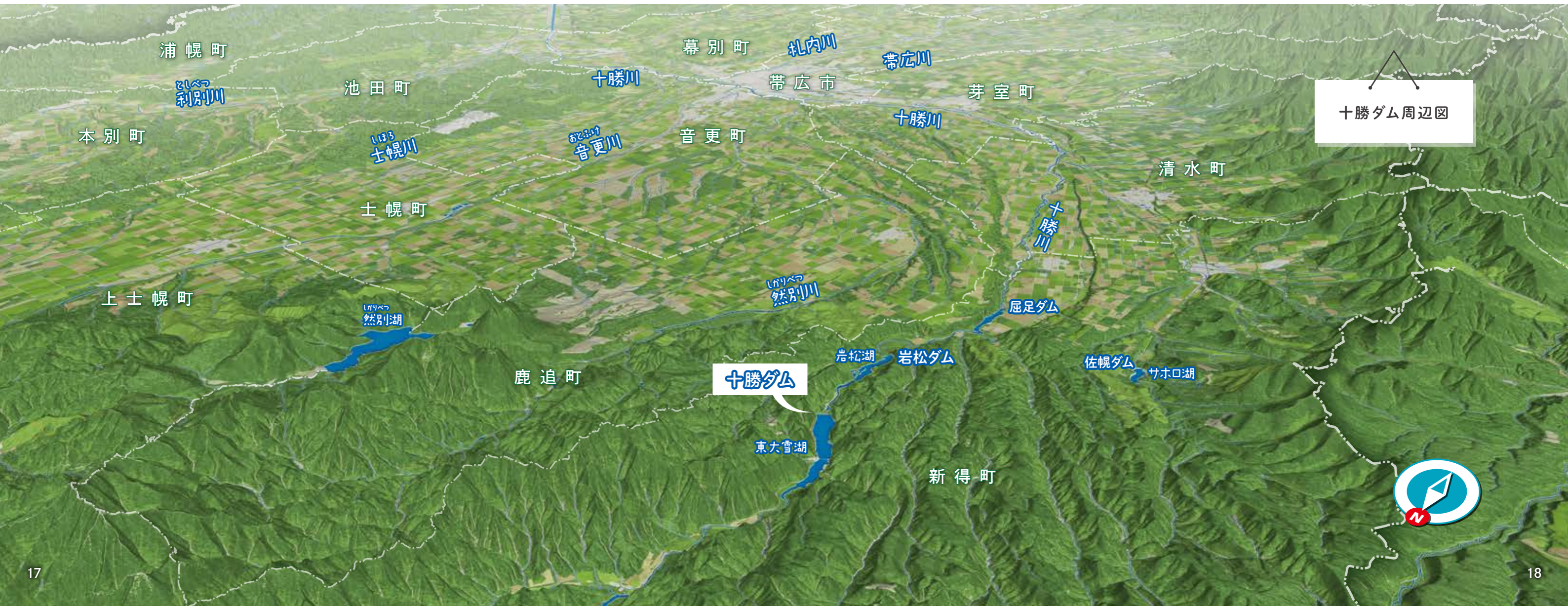
洪水を防ぐ

十勝川は、過去に何度も洪水を繰り返し、流域に多大な被害を及ぼして来ました。十勝ダムは、上流に降った雨水を貯留し、川の水の流れる量を適切に調節することで、洪水を未然に防いでいます。



電気を作る

十勝川の豊富な水量を利用した再生可能エネルギーによる発電も十勝ダムの大切な役割のひとつです。ダム直下の発電所では有効落差49.5m、最大94m³/sの水を使い、最大出力40,000kWの発電を行ってクリーンなエネルギーを作ります。



札内川ダム

札内川の治水、水道と農業用水の供給、発電、河川の正常な流量の維持を目的とした特定多目的ダム

札内川上流の札内川ダムは、台風や大雨の際の洪水調節と水道・農業用水の供給及び電気を作る水力発電などを目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。十勝ダムと同様に、ダム管理に必要な放流の点検整備、観測・操作、流木処理などを行っています。

札内川ダムの施設概要

高さ	／ 114m
長さ	／ 300m
体積	／ 770,000m ³
総貯水容量	／ 54,000,000m ³
貯水面積	／ 1.7km ²
集水面積	／ 117.7km ²
ダム形式	／ 重力式コンクリートダム

札内川ダムのフラッシュ放流の状況



フラッシュ放流とは、一時的にダムから多くの水を流すこと(Flush)で、川の礫の移動を促し、昔から札内川にいた動植物の生育地や生息地を守る取組です。



札内川ダム周辺図



平成28年洪水時の非常洪水吐越流状況

札内川ダムの堰堤改良事業

平成28年8月、連続して上陸した台風の影響により、ダムへの流入量が計画高水流量(700m³/s)を超える観測史上最大の714m³/sを記録しました。

このため、札内川ダムではやむを得ず異常洪水時防災操作(緊急放流)をすることとなり、放流量が増加しダム下流では2箇所にて堤防が決壊するなど、大きな被害が発生しました。



H28緊急放流の状況



H28札内川の堤防決壊状況
(KP40.8左岸付近)



H28札内川の戸蓋別川合流付近堤防決壊状況
(KP24.8左岸付近)

放流能力の増強に向けた検討

今後、同規模の洪水が発生しても、異常洪水時防災操作(緊急放流)を回避し、ダム下流の浸水被害の軽減を図るため、「洪水後期放流(洪水調節終了後に次の洪水に備えるため、ダム貯水位を下げる)」及び「事前放流(大雨が予測される場合、あらかじめダム貯水位を下げておく)」を目的とした放流能力増強に向けた検討を実施しています。



札内川ダム



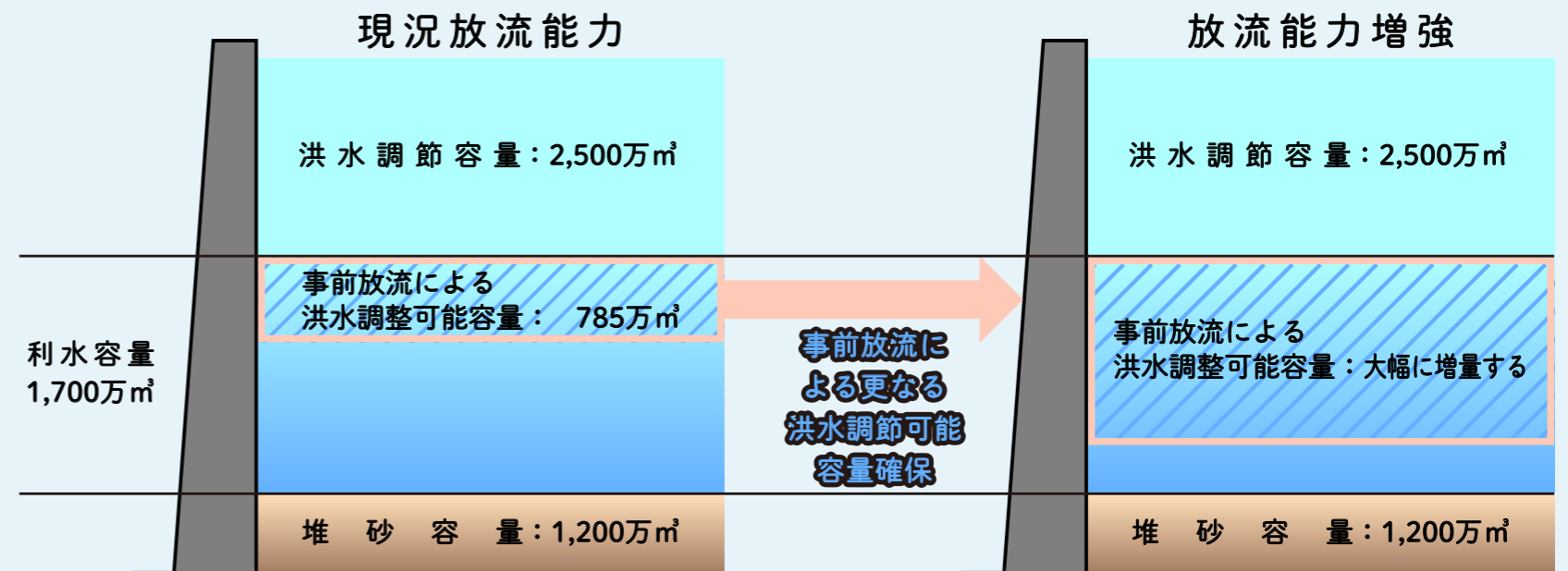
施工イメージ

施工例(他ダムの事例)

検討イメージ



事前放流による洪水調節可能容量の確保 (H28.8出水でのシミュレーション)



※本ページは検討中の内容の為、今後変更となる可能性があります。

帯広河川事務所



国が管理する十勝川水系の広大なエリアを5つの機関で分担管理しています。帯広河川事務所は、十勝川の中・上流部、札内川や音更川などの支川の管理や、河川改修、砂防事業など、みなさんの生活の中で河川に関わる事柄をしっかりと支えています。



川をもっと知りたい方へ

災害の役に立つ!

帯広開発建設部

十勝川の四季・自然・歴史・写真・イベント等の情報や、管内一級河川の水質速報、洪水氾濫シミュレーションなどがご覧いただけます。

PC・スマホ



<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>

Twitter



@mlit_hkd_ob

川の防災情報

身近な「雨の状況」、「川の水位の危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

PC



<http://www.river.go.jp>

スマホ



<https://www.river.go.jp/s/>

十勝川インフォメーションセンター

3階に十勝川・十勝大橋を見渡せる展望スペース、1階には川に関する資料などの展示スペースがあります。

〒080-0030
帯広市大通北2丁目
TEL 0155-23-2160

開館時間
9:00~17:00(5月~11月)

休館日 12月~4月までは休館
開館時間と開館日については、HPでご確認ください。

PC・スマホ



組織図

所長

副所長
(河川・砂防)

副所長
(ダム)

総務課

帯広河川事務所の窓口です。
河川法の許認可や河川巡視などを担当しています。

調査課

ダム事業に関する計画、調査などを担当しています。

計画課

河川整備に関する計画、調査、災害時における関係機関との調整、河川の維持修繕や千代田分流堰の管理などを担当しています。

工務課

河川改修工事や災害復旧工事、砂防工事などを担当しています。

十勝ダム管理支所

十勝ダムの洪水時におけるダムの管理・操作などを担当しています。

札内川ダム管理支所

札内川ダムの洪水時におけるダムの管理・操作などを担当しています。

かわたび
ほっかいどう



川へ行こう！ 川を楽しもう！
かわたび
ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO

北海道を流れる
川や湖などの
「水辺」の魅力を
発信しています。

PC・スマホ



<https://kawatabi-hokkaido.com/>



facebook



@kawatabi0707



Instagram



@kawatabi_hokkaido

広大な十勝川流域を分担管理

十勝ダム管理支所

〒081-0154 上川郡新得町字屈足トムラウシ

TEL 0156-65-3121

帯広開発建設部

十勝川流域の国直轄管理河川を統括

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目

TEL 0155-24-4105(治水課直通)

札内川ダム管理支所

〒089-1374 河西郡中札内村南札内735番地

TEL 0155-69-4666

帯広河川事務所

十勝川(上流・中流)^{さつない おとふけ}・札内川^{しほろ}・音更川^{しかりべつ}
士幌川^{とべつ}・帯広川^{とったべつ}・然別川^{とったべつ}・途別川^{とったべつ}・戸蔦別川

〒089-0536 中川郡幕別町札内西町73番地6

TEL 総務課 0155-25-1294
調査課 0155-25-1294
計画課 0155-25-1295
工務課 0155-25-0692

糠平ダム調査事業所

糠平ダム再生事業の調査を行っています。

〒089-0536 中川郡幕別町西町73-6(帯広河川事務所内)

TEL 0155-24-5471

池田河川事務所

十勝川(下流)^{としべつ}・利別川^{さるべつ}・猿別川^{とうふつ}・十弗川^{うししゅべつ}
牛首別川^{うらほろ}・浦幌十勝川^{したころべ}・下頃辺川

浦幌川・浦幌十勝導水路

〒083-0032 中川郡池田町字利別東町

TEL 015-572-2661

